

大阪市行政オンラインシステム（電子アンケート）用

地域福祉に関する福祉専門職への調査

大阪市では、令和6年3月に「だれもが自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくり」を基本理念とした、第3期大阪市地域福祉基本計画（令和6年度～令和8年度）を策定しました。

地域には、年齢や性別、障がいの有無など、さまざまな特性や背景を持つ人々が住み、それぞれ異なった世帯構成や生活環境の中で暮らしています。また、仕事や学校のほか、ボランティアなど、いろいろな理由で地域を訪れ、活動している人々もいます。このように、多様な人々が暮らし、働き、学び、訪れる地域で、だれもが自分らしく安心して生活していくために、住民や行政をはじめ、地域に関わるすべての人の力をあわせて、共に生き共に支え合い、みんなが生活を共に楽しむ地域を作り上げていくという「地域福祉」の考えに基づく取り組みを進めています。

今後の施策の参考とするため、日頃から地域の方々と関わり、相談対応されるなど、地域福祉の推進の一助となっておられる福祉専門職の皆様のお考えを率直にお聞かせください。

- ※ この調査は、各区社会福祉協議会や各分野（高齢、障がい、子ども、生活困窮）の相談支援機関の職員として大阪市内で活動されている方へ回答を依頼しています。
- ※ 担当者個人への意識調査となりますので、回答にあたり、各組織の意見を取りまとめていただく必要はございません。
- ※ この調査は、質問1から質問16までありますが、あなたのお考えに近い選択肢がないときや、答えられないとき、あるいは、答えたくないことは、その質問は空白のままです。
- ※ 調査は匿名で回答集約します。自由記入欄に、あなたのお名前等を記載しないでください。

地域での支え合い・助け合いについて

質問1 担当している地域は、「つながりのある地域」だと思いますか。

（○は1つ）

- ☐1 そう思う
- ☐2 ある程度そう思う
- ☐3 あまりそう思わない
- ☐4 そう思わない

〔質問 1 で「1 そう思う」または「2 ある程度そう思う」と答えた方にお聞きます。〕

質問2 担当している地域が「つながりのある地域」だと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

- ☐1 近隣の住民同士のあいさつや声かけがあるから
- ☐2 地域における日常の見守り活動があるから
- ☐3 地域に困りごとなどの相談をする人がいるから(場があるから)
- ☐4 お祭りなどの地域の行事が開催され多くの人が参加しているから
- ☐5 地域活動やボランティア活動が活発に行われているから
- ☐6 その他(具体的にお書きください:)

質問3 どのようなことを一層推進すれば、地域でお住まいの方が地域の「つながり」を実感することができるようになりますか。(○はいくつでも)

- ☐1 近隣の住民同士で普段からあいさつや声かけをすること
- ☐2 お祭りなどの地域の行事などに参加すること
- ☐3 地域福祉活動やボランティア活動に参加すること
- ☐4 広報誌などで「つながり」の重要性を周知すること
- ☐5 地域福祉の推進役などが普段の困りごとの相談にのること
- ☐6 その他(具体的にお書きください:)
- ☐7 わからない

地域福祉活動について

質問4 担当している地域で、どのような地域福祉活動が求められていると感じていますか。(○はいくつでも)

- ☐1 日常の見守り活動
- ☐2 こどもを支援する活動(こども食堂やこどもの学習支援など)
- ☐3 子育てを支援する活動
- ☐4 高齢者を支援する活動
- ☐5 障がいのある方を支援する活動
- ☐6 介護者・介助者を支援する活動
- ☐7 地域防災及び防犯などに関する活動
- ☐8 地域の高齢者とこどもとの世代間交流活動
- ☐9 市民後見人活動(家庭裁判所から成年後見人などとして選任された一般市民による後見活動)
- ☐10 外国につながる市民・留学生等について交流や支援をする活動
- ☐11 地域住民の健康づくりを支援する活動
- ☐12 その他(具体的にお書きください:)
- ☐13 わからない

質問5 担当している地域における地域福祉活動が抱える一番の課題は何だと思われますか。

(○は1つ)

- ☐1 活動の担い手不足(担い手の高齢化を含む)
- ☐2 活動場所の不足
- ☐3 活動資金の不足
- ☐4 地域福祉活動の担い手を支える福祉専門職の人材不足
- ☐5 専門職との協議の場の不足
- ☐6 その他(具体的にお書きください:.....)
- ☐7 わからない

住民主体の地域課題の解決力強化について

質問6 担当している地域において、地域福祉活動を通じて発見された地域課題やニーズについて、住民同士で共有し、話し合い、地域全体で解決に向けて取り組む体制が整っていると感じますか。(○は1つ)

- ☐1 整っている
- ☐2 ある程度整っている
- ☐3 整っていない
- ☐4 わからない

質問7 地域課題やニーズについて、地域全体で解決に向けて取り組む体制を整えていくためには何が一番必要であると考えますか。(○は1つ)

- ☐1 活動の担い手の養成
- ☐2 活動場所
- ☐3 活動資金
- ☐4 福祉専門職による支援
- ☐5 行政による支援
- ☐6 その他(具体的にお書きください:.....)
- ☐7 わからない

質問8 担当する地域において、どのような地域福祉活動への支援が最も求められていると思いますか。(○は1つ)

- ☐1 団体や活動者に対する地域福祉活動にかかる助言
- ☐2 活動者を対象とした会議や研修などの開催
- ☐3 地域課題を解決するための会議への参画
- ☐4 新たな活動の立ち上げ支援
- ☐5 広報啓発活動への支援
- ☐6 地域福祉活動の担い手の養成への支援
- ☐7 地域資源の開発
- ☐8 活動継続への後方支援
- ☐9 その他(具体的にお書きください:.....)
- ☐10 特にない
- ☐11 わからない

質問9 福祉専門職が地域福祉活動への支援をおこなっていくうえでの一番の課題は何だと思いますか。(○は1つ)

- ☐1 地域(住民)の福祉専門職への認識不足
- ☐2 専門性の不足・偏重
- ☐3 雇用の安定性
- ☐4 職場における体制
- ☐5 福祉専門職自身の地域に関する理解不足
- ☐6 その他(具体的にお書きください:.....)
- ☐7 特にない
- ☐8 わからない

地域における見守り活動について

質問10 大阪市では、民生委員・児童委員による訪問活動や、ボランティアによる児童の登下校の見守り、老人クラブなどの地域住民による友愛訪問、要援護者名簿を活用した地域での見守り活動などがおこなわれていますが、あなたは担当の地域で行われている見守り活動の課題は何であると考えますか。

(○はいくつでも)

- ☐1 見守りの対象となる世帯の増加
- ☐2 町会などの地縁関係の希薄化
- ☐3 担い手の不足(担い手の高齢化)
- ☐4 見守り活動の認知不足
- ☐5 その他(具体的にお書きください:.....)
- ☐6 わからない

地域福祉活動への多様な主体の参画と協働の推進

質問11 地域住民、地縁団体、行政・社協を除いて、担当している地域において地域福祉活動に参画している主体は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

- ☐1 地域にあるボランティア団体やNPO法人
- ☐2 地域にある社会福祉法人(社会福祉施設など)
- ☐3 地域にある企業や個人事業主
- ☐4 その他(具体的にお書きください:.....)
- ☐5 特にない
- ☐6 知らない

質問12 地域住民、地縁団体、行政・社協を除く主体が実施する地域福祉活動に期待することとは次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

- ☐1 専門性(知識やノウハウ)を活かした活動
- ☐2 豊富な人材を活かした活動
- ☐3 資金協力(行事への協賛など)
- ☐4 継続的な参画
- ☐5 その他(具体的にお書きください:.....)
- ☐6 特にない
- ☐7 わからない

災害への備えについて

質問13 大規模な災害が発生すると、消防、警察、自衛隊などによる救援が行き渡ることが極めて難しくなり、地域の住民同士で、救助活動や避難所の運営を行うことが求められます。このような場合に備えて、普段からどのようなことが必要であると思いますか。(〇はいくつでも)

- ☐1 近所の人とあいさつをする程度の関係はつくっておくこと
- ☐2 避難行動要支援者名簿や、個別避難計画などを通じて、避難するのに支援が必要な人が誰であるか把握しておくこと
- ☐3 住民同士で互いの家庭状況(家族構成・介護の必要性など)についてある程度知っておくこと
- ☐4 地域で用意している救助資材の内容や管理場所を知っておくこと
- ☐5 ハザードマップなどで地域の危険な場所を知っておくこと
- ☐6 災害時の避難場所・避難所を知っておくこと
- ☐7 警戒レベル(5段階)などの防災情報の意味を知っておくこと
- ☐8 防災訓練に参加すること
- ☐9 その他(具体的にお書きください:.....)
- ☐10 わからない

質問14 各事業所において BCP の策定が義務化されるなど、大規模な災害への備えが重要視されている中で、災害時には様々な形での地域への支援が求められることが予想されますが、あなたは、担当されている地域において災害時にどのような支援が必要とされるかを想定し、普段から準備ができていますか。(○は1つ)

- ☐1 必要な支援を想定して、準備ができています
- ☐2 必要な支援を想定して、ある程度準備ができています
- ☐3 必要な支援を想定しているが、準備ができていない
- ☐4 必要な支援を想定していない

相談支援体制の充実に向けて

質問15 相談者や地域の方から相談を受けた際に連携する機関はどこですか。(○はいくつでも)

- ☐1 区役所(区保健福祉センター)
- ☐2 区社会福祉協議会
- ☐3 見守り相談室
- ☐4 地域包括支援センター／認知症強化型地域包括支援センター(オレンジチーム)/
総合相談窓口(ブランチ)
- ☐5 障がい者基幹相談支援センター／地域活動支援センター(生活支援型)
- ☐6 地域子育て支援センター(地域子育て支援拠点事業 センター型)
- ☐7 生活困窮者自立相談支援窓口
- ☐8 病院
- ☐9 警察
- ☐10 学校
- ☐11 地域で実施しているつどいの場
(ふれあい喫茶、百歳体操、認知症カフェ、子育てサロン、こども食堂など)
- ☐12 その他(具体的にお書きください)

あなたご自身のことについて

質問16 今後の施策の参考とさせていただくため、あなたご自身のことなどをお聞きます。
なお、答えたくない設問については、ご回答いただかなくて構いません。

A 性別を選んでください。(○は1つ)

- ☐1 男性 ☐2 女性 ☐3 その他

B 年齢について、あてはまるものを選んでください。(○は1つ)

- ☐1 20歳代 ☐2 30歳代 ☐3 40歳代
☐4 50歳代 ☐5 60歳代 ☐6 70歳代
☐7 80歳以上

C 主に担当している区を選んでください。(○は1つ)

- | | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| ☐ 1 北区 | ☐ 2 都島区 | ☐ 3 福島区 | ☐ 4 此花区 |
| ☐ 5 中央区 | ☐ 6 西区 | ☐ 7 港区 | ☐ 8 大正区 |
| ☐ 9 天王寺区 | ☐ 10 浪速区 | ☐ 11 西淀川区 | ☐ 12 淀川区 |
| ☐ 13 東淀川区 | ☐ 14 東成区 | ☐ 15 生野区 | ☐ 16 旭区 |
| ☐ 17 城東区 | ☐ 18 鶴見区 | ☐ 19 阿倍野区 | ☐ 20 住之江区 |
| ☐ 21 住吉区 | ☐ 22 東住吉区 | ☐ 23 平野区 | ☐ 24 西成区 |

D あなたの所属を教えてください。(○は1つ)

- ☐1 区社会福祉協議会(地域支援担当)
☐2 見守り相談室 CSW(見守り相談員)
☐3 生活支援コーディネーター
☐4 地域包括支援センター/総合相談窓口(ランチ)
☐5 障がい者基幹相談支援センター/地域活動支援センター(生活支援型)
☐6 地域子育て支援センター(地域子育て支援拠点事業 センター型)
☐7 生活困窮者自立相談支援機関

大阪市の施策へのご意見について

大阪市の地域福祉施策について、ご意見などがありましたら、次の欄に記入してください。

--